

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1570300531		
法人名	上越老人福祉協会		
事業所名	グループホーム宝寿の家		
所在地	新潟県上越市平成町339番地		
自己評価作成日	令和3年10月6日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kai.gokensaku.niigata.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_2016_022_kani=true&jizyosyoCd=1570300531-00&PrefCd=15&VerSi=0&P=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	令和3年11月26日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

1、特養いなほ園が母体施設となっており、医療、リハビリ等色々の専門分野からの助言、指導等支援が得やすい。職員は母体施設合同の委員会に所属しており、情報収集、情報共有等行い、施設単独では困難な研修会等への参加も行えスキルアップに繋げている。また、大雨や大雪等の災害時の協力体制も出来ており、災害訓練等でも協力を得ている。法人内には6か所の地域密着事業所があり、情報交換等行い協力し連携を取っている。

2、認知症状で困った事や体調不良等があった際は精神科、内科の協力医療機関があり、認知症専門医や内科医による継続的な治療、相談が受けられる。

3、施設の裏に畑があり、利用者と職員で野菜の栽培や収穫を協力して行い信頼関係を構築している。中庭もあり天気の良い日等はお茶会をしたりランチ会等行い利用者同士の憩いの場にもなっている。

4、現在コロナ禍の為外出行事等が行えない状況だが、職員の方でアイデアを出し合い、工夫して利用者にとストレスのため込ませない様な行事計画を実施している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○法人の他事業所との連携と情報共有について
社会福祉法人が運営するグループホームは4カ所、地域では多くの高齢者福祉施設を展開している法人内の一つの事業所である。開設21年目を迎え、昨年より管理運営も変わり心機一転した。職員は母体施設合同の委員会にも所属しており、研修会や委員会活動等職員のスキルアップに繋げている。また、災害時の協力体制も構築されており、備蓄品等も含め法人全体で災害時の事業継続計画等も作成が行われている。法人の他事業所との情報共有も行われ、待機者情報や住み替え支援等法人のバックアップ体制が整っている。サービスの質の向上だけでなく、利用者や家族、職員の安心に繋がっている。

○コロナ禍でも楽しめる活動の工夫

事業所の周りには公園や馴染みのあるスーパーが近くにあり、散歩や買い物に出かけることなど自由に外出が行われていた。また、面会者も多く家族や近所の方も気軽に足を運んでくれていたが、現在のコロナ禍の状況以降、家族や地域との交流制限があり、今まで通りの活動が出来ない状況が続いている。そうした中でも職員は、季節を感じる行事は重要と考え、外出できなくても室内で特別感のあるイベントが出来るようアイデアを出し合い、自宅から菊の花や桜の枝を持参して花見をしたり、本物のぶどうを吊るしぶどう狩りや流しそうめん、ハンバーガーカフェなどを月2回程企画・実行している。利用者の笑顔を写真に残し、家族に現況報告や事業所内にも多くの写真を飾っている。日常生活の中で利用者によりハッピーや楽しみをもたらすだけでなく、事業所で働く職員の大きなやりがいとなっている。

○一人ひとりの思いに寄り添ったチームでつくる介護計画

利用者ひとり一人に担当が付いており、日常の関わりの中から利用者の思いや気づき、体調面を細かく記録に残し情報の共有を行っている。事前面接にはケアマネージャーが自宅に行き、生活歴や暮らし方の希望などを本人と家族に丁寧に聞き取りを行い、センター方式のアセスメントツールを活用し介護計画の作成を行っている。利用者の思いやできる事、やりたい事を大切に、職員都合で動かない、否定しないを、全職員が徹底し信頼関係を築きながら、日常生活の中で笑顔が増えて生活が豊かになるように支援している。